

2022年12月アンケート調査実施

# 確定拠出年金に関する意識調査2023

野村アセットマネジメント 資産運用研究所

2023年6月

## 目次

No	項目	スライドタイトル	ページ
I	目次	目次	1
II	要点	調査結果の要点	2
III	老後資金について	老後資金・資産運用の現状認識	3
		各種制度における受取予定金額の把握	4
IV	各種制度について	制度の理解	5
		制度の利用意向	6
		制度の利用意向：iDeCo	7
		制度の利用意向：iDeCo+	8
		制度の利用意向：企業型DC	9
		加入のきっかけ：iDeCo	10
		加入時の重視項目：iDeCo	11
		制度を利用している理由：iDeCo	12
		制度を利用している理由：企業型DC	13
		制度を利用しない理由	14
		制度を利用するためのきっかけ	15
		制度・サービスに関するニーズ	16
		V	投資金額について
現状の投資金額：企業型DC	18		
（参考）現状の投資金額：一般NISA	19		
（参考）現状の投資金額：つみたてNISA	20		
VI	商品の運用について	運用商品の選定	21
		商品の配分指定における支援要否	22
		商品配分指定の状況	23
		現在および今後の商品配分	24
VII	60歳以降の運用について	60歳以降の運用継続意向	25
		60歳以降も運用を続ける際の利回り	26
		受取時に関する制度内容等の理解	27
VIII	調査概要	調査概要	28

## 調査結果の要点

- 本調査では、主にiDeCo(個人型確定拠出年金)と企業型DC(企業型確定拠出年金)に関するアンケートを実施
- 調査結果の要点は下記の通り

### 老後資金について

---

- 全体の79%が老後の生活資金に不安を感じている
- 「資産運用に関するアドバイスが欲しい」は20代、30代で約6割と高い
- 老後の生活資金がいくら必要か知っている人の割合は41%であり、その為に資産運用に取り組んでいる人の割合は30%にとどまる
- 公的な年金からの受取金額を把握している人の割合は「国民年金」が36%、「厚生年金／国民年金基金」が33%にとどまる

### iDeCo、企業型DCにおける認知、利用意向、理由

---

- iDeCo、企業型DCの認知や利用意向は、NISAと比べて低い
- iDeCo、企業型DCともに、加入者の方が未加入者よりも、制度利用の意向割合が高い
- iDeCoを利用している理由は、「税制優遇措置があり有利」が60%、「老後資金の確保に必須の制度だと思う」が29%
- 企業型DCを利用している理由は、「勤務先等で導入しているから」が61%、「税制優遇措置があり有利」が30%
- iDeCo、企業型DCともに、4人に1人は「制度のことがよくわからない」為に利用していない

### iDeCo、企業型DCの実際の運用、期待利回り

---

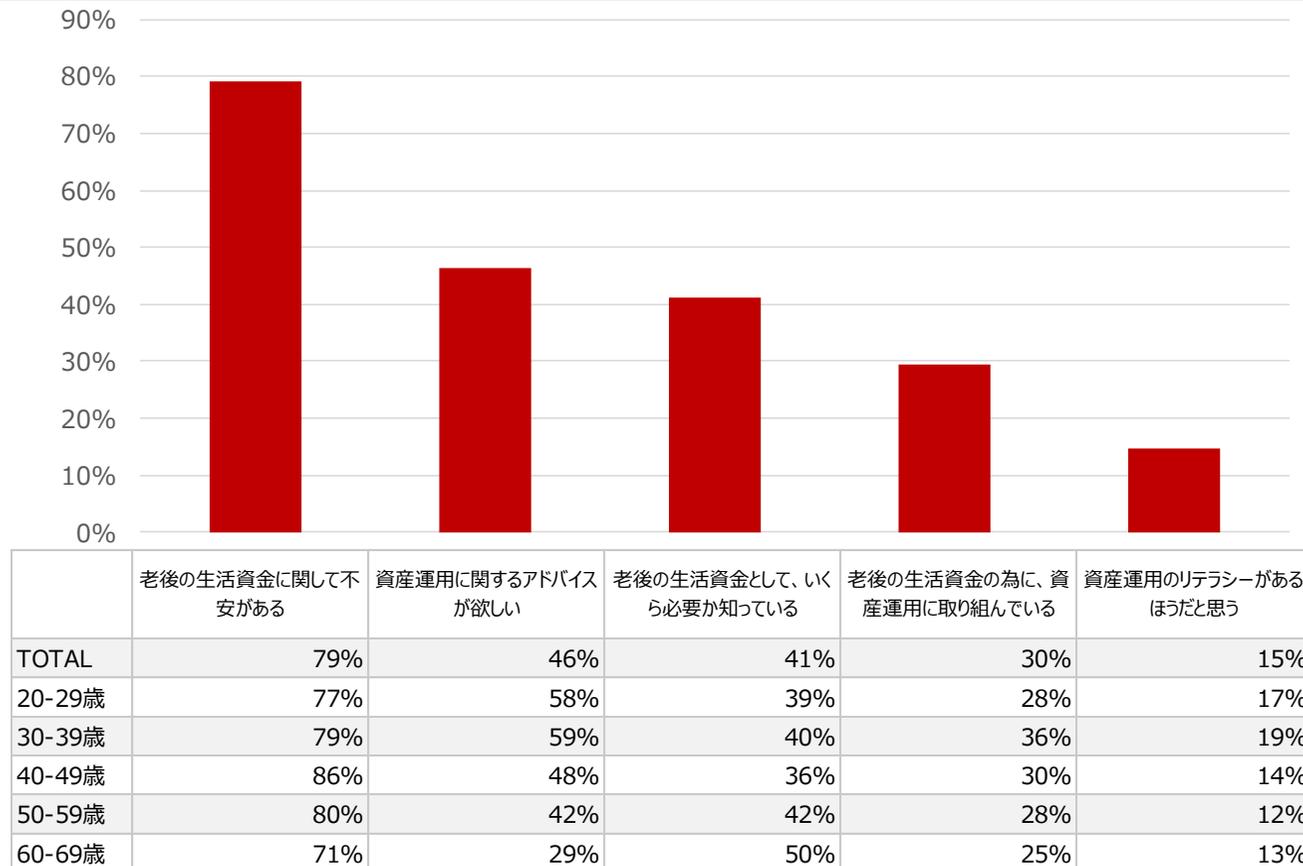
- 運用を行うにあたり求めるサポートは、「配分指定へのアドバイス」が80%、「自分と同じような人がどのような商品配分をしているかの情報提供」が77%
- 資産運用のリテラシーがあると思っている人のほうが、「現在の商品の配分指定を把握している」、「これまでに商品の配分指定の見直しをした」割合がともに高い
- 60歳以降も運用を続けるにあたり最低限期待する利回りは、「少なくとも3%程度」が42%、「少なくとも5%以上」が29%

## 老後資金・資産運用の現状認識

- 「老後の生活資金に関して不安がある」は全体で79%と高い
- 「資産運用に関するアドバイスが欲しい」は20代、30代で約6割と高い
- 「老後の生活資金として、いくら必要か知っている」との回答は全体の41%、実際に「老後の生活資金の為に、資産運用に取り組んでいる」は30%にとどまる

### 老後資金・資産運用の現状認識（年代別）

Q)老後資金、資産運用に関する各項目について、あなたはどの程度あてはまりますか。（複数回答、全体 n=8,386）



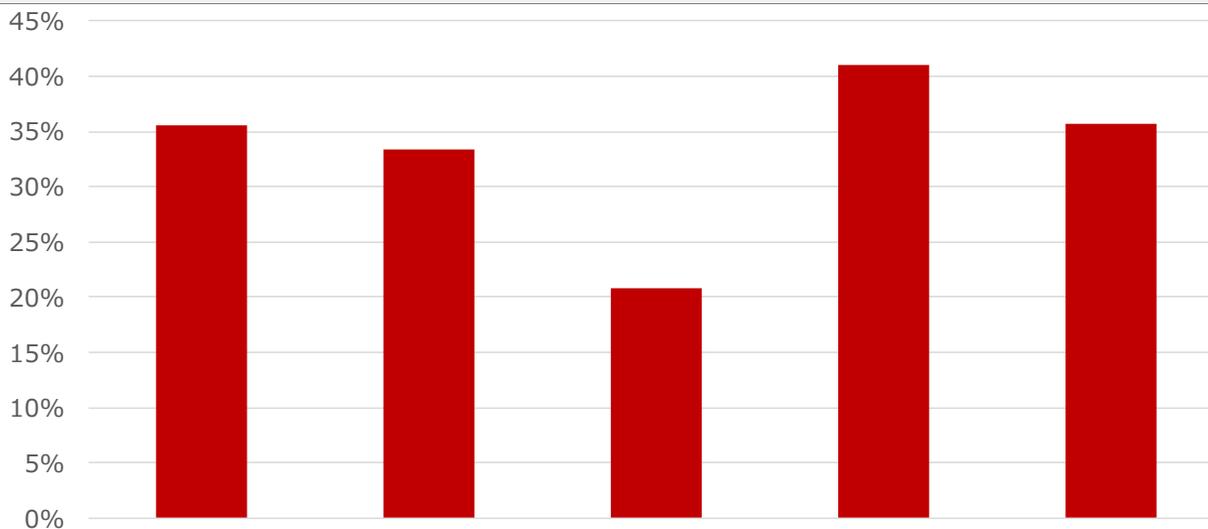
当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

## 各種制度における受取予定金額の把握

- 受取金額を把握している人の割合は「国民年金」が36%、「厚生年金／国民年金基金」が33%、「退職給付」が約21%、「企業型DCおよびDB」は加入者の41%、「iDeCoおよびiDeCo+」は36%

### 各種制度における加入者の受取予定金額の把握

Q) 次の各制度について、将来いくらもらえるか把握していますか。(単一回答、各制度の加入者数※1)  
 (注) 企業型DC、iDeCoについては、想定するシミュレーション結果(想定受取金額)を把握しているかどうか、お答え下さい。



	国民年金	厚生年金／国民年金基金	退職給付	企業型DC及びDB(※2)	iDeCo及びiDeCo+(※3)
TOTAL	36%	33%	21%	41%	36%
20-29歳	15%	15%	10%	31%	37%
30-39歳	25%	26%	15%	38%	37%
40-49歳	27%	27%	16%	37%	32%
50-59歳	38%	42%	27%	49%	37%
60-69歳	70%	71%	46%	62%	40%

※1 「国民年金」 n=8,386、「厚生年金/国民年金基金」 n=6,838、「退職給付」 n=6,838、「企業型DCおよびDB」 n=3,114、「iDeCoおよびiDeCo+」 n=3,222

※2 DBは確定給付企業年金 (Defined Benefit Plan)

※3 iDeCo+は諸条件のもと、iDeCoに加入している従業員の掛金に上乗せして、掛金を拠出できる中小事業主掛金納付制度

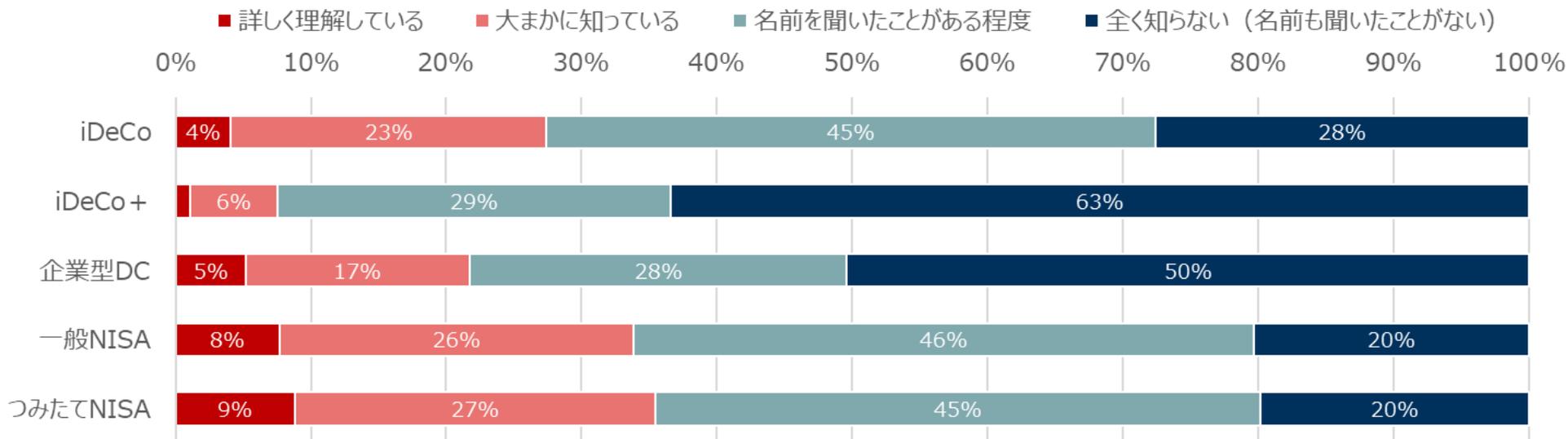
当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

## 制度の理解

- 税制優遇制度における各制度について、理解している(※)は、高い順に「つみたてNISA」>「一般NISA」>「iDeCo」>「企業型DC」>「iDeCo+」
- 確定拠出年金制度（iDeCo、iDeCo+、企業型DC）については理解度が低い

### 各制度の理解

Q) 次の各制度について、あなたはどの程度ご存じですか。あてはまるものをそれぞれお選びください。（単一回答、全体 n=8,386）



※ 理解しているは、「詳しく理解している」+「大まかに知っている」の合計と定義

## 制度の利用意向

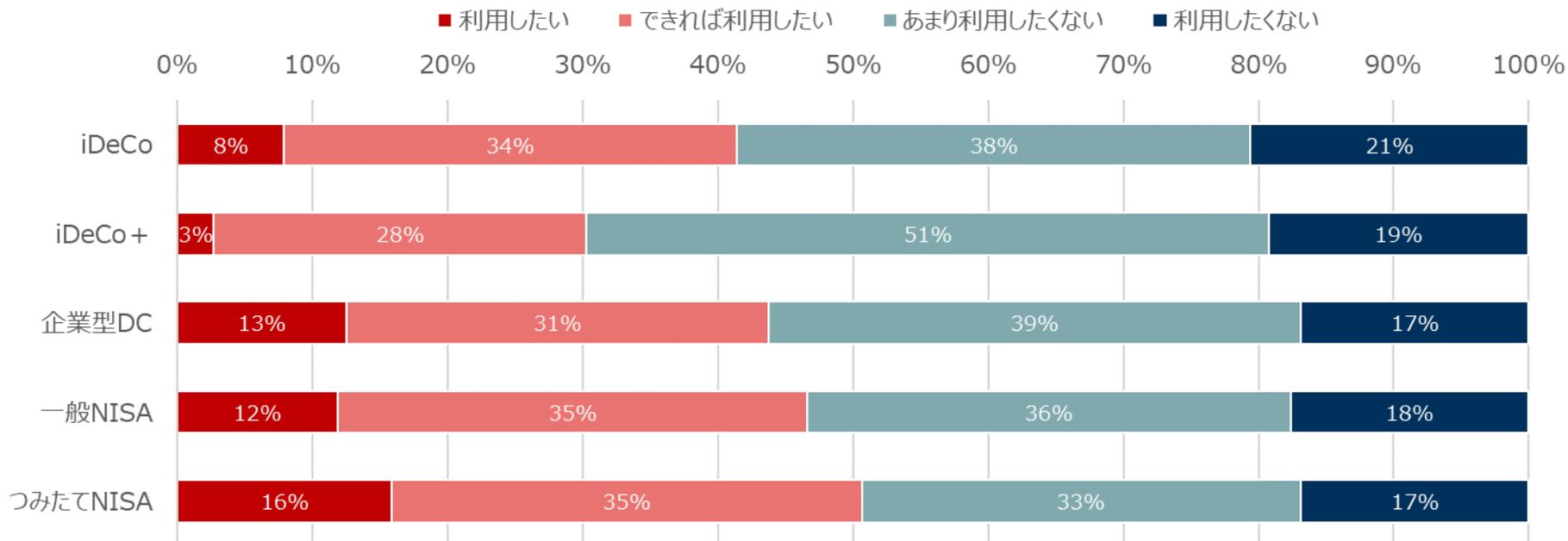
- 税制優遇制度における各制度について、利用意向(※1)は、高い順に「つみたてNISA」> 「一般NISA」> 「企業型DC」> 「iDeCo」> 「iDeCo+」
- 確定拠出年金制度（iDeCo、iDeCo+、企業型DC）については、利用したい人が半数にも満たない

### 各制度の利用意向

Q) 現在利用している、いないにかかわらず今後2年～3年後を考えた時、次のそれぞれの制度についてあなたはどの程度利用したいと思いますか。（単一回答、各制度の加入資格者数※2）

（注1）現在すでに利用されている方は、「継続したいか」をお答えください。

（注2）iDeCo+、企業型DCについては、勤務先等で導入していれば、と想定してお答え下さい。



※1 利用意向は、「利用したい」+「できれば利用したい」の合計と定義

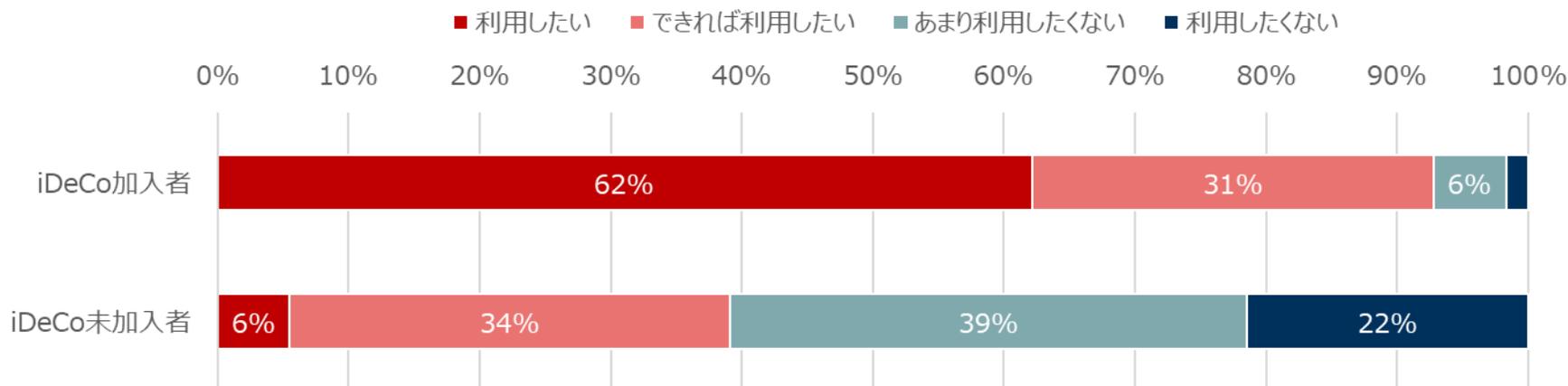
※2 「iDeCo」 n=8,386、「iDeCo+」 n=2,357、「企業型DC」 n=5,928、「一般NISA」 n=8,386、「つみたてNISA」 n=8,386

## 制度の利用意向：iDeCo

- iDeCo加入者における今後の継続利用意向は「利用したい」が62%、「できれば使用したい」が31%
- iDeCo未加入者における利用意向は「利用したい」が6%、「できれば使用したい」が34%

### 制度の利用意向：iDeCo（加入状況別）

Q) 現在利用している、いないにかかわらず今後2年～3年後を考えた時、次のそれぞれの制度についてあなたはどの程度利用したいと思いますか。（単一回答、iDeCo加入者 n=3,222、iDeCo未加入者 n=5,164）  
 (注) 現在すでに利用されている方は、「継続したいか」をお答えください。



## 制度の利用意向：iDeCo+

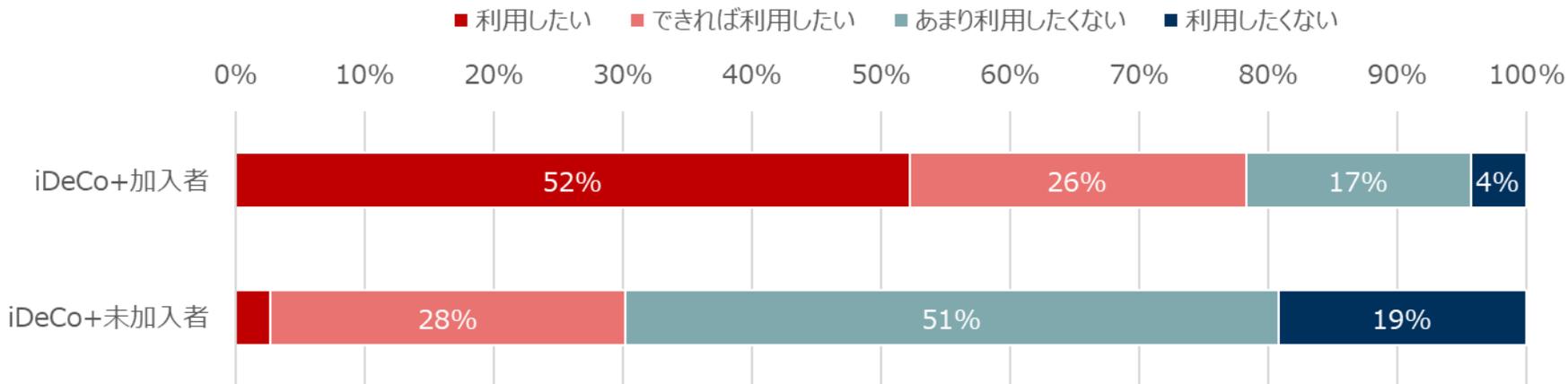
- iDeCo+ 加入者における今後の継続利用意向は「利用したい」が52%、「できれば使用したい」が26%
- iDeCo+ 未加入者における利用意向は「利用したい」が3%、「できれば使用したい」が28%

### 制度の利用意向：iDeCo+（加入状況別）

Q) 現在利用している、いないにかかわらず今後2年～3年後を考えた時、次のそれぞれの制度についてあなたはどの程度利用したいと思いますか。（単一回答、iDeCo+加入者 n=23※、iDeCo未加入者 n=2,334）

（注1）現在すでに利用されている方は、「継続したいか」をお答えください。

（注2）勤務先等で導入していれば、と想定してお答え下さい。



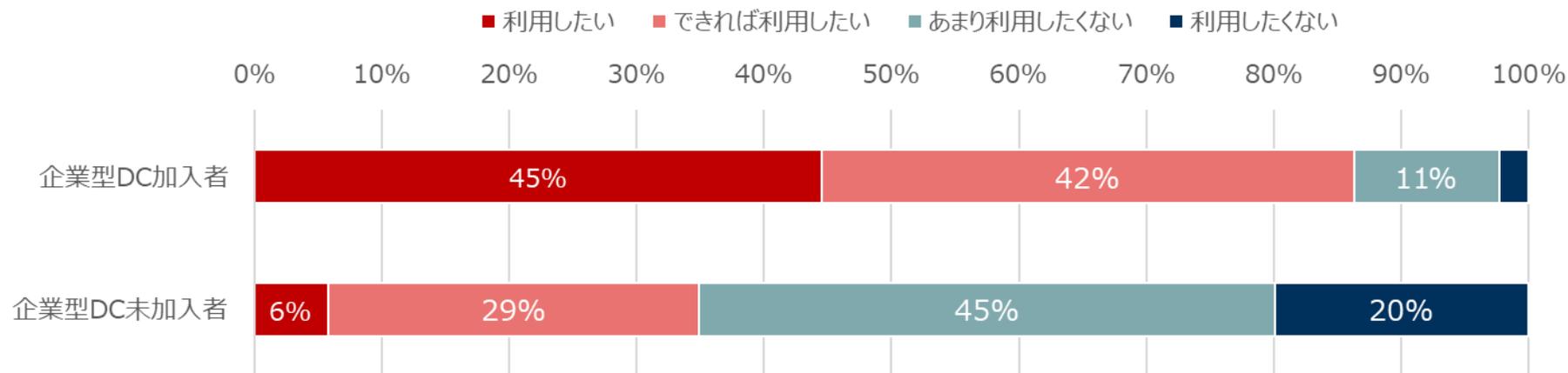
※iDeCo+については回収できたサンプルサイズが少ない為、参考数値

## 制度の利用意向：企業型DC

- 企業型DC加入者における今後の継続利用意向は「利用したい」が45%、「できれば利用したい」が42%
- 企業型DC未加入者における利用意向は「利用したい」が6%、「できれば利用したい」が29%

### 制度の利用意向：企業型DC（加入状況別）

Q) 現在利用している、いないにかかわらず今後2年～3年後を考えた時、次のそれぞれの制度についてあなたはどの程度利用したいと思いますか。（単一回答、企業型DC加入者 n=2,746※、企業型DC未加入者 n=3,182）  
 (注1) 現在すでに利用されている方は、「継続したいか」をお答えください。  
 (注2) 勤務先等で導入していれば、と想定してお答え下さい。



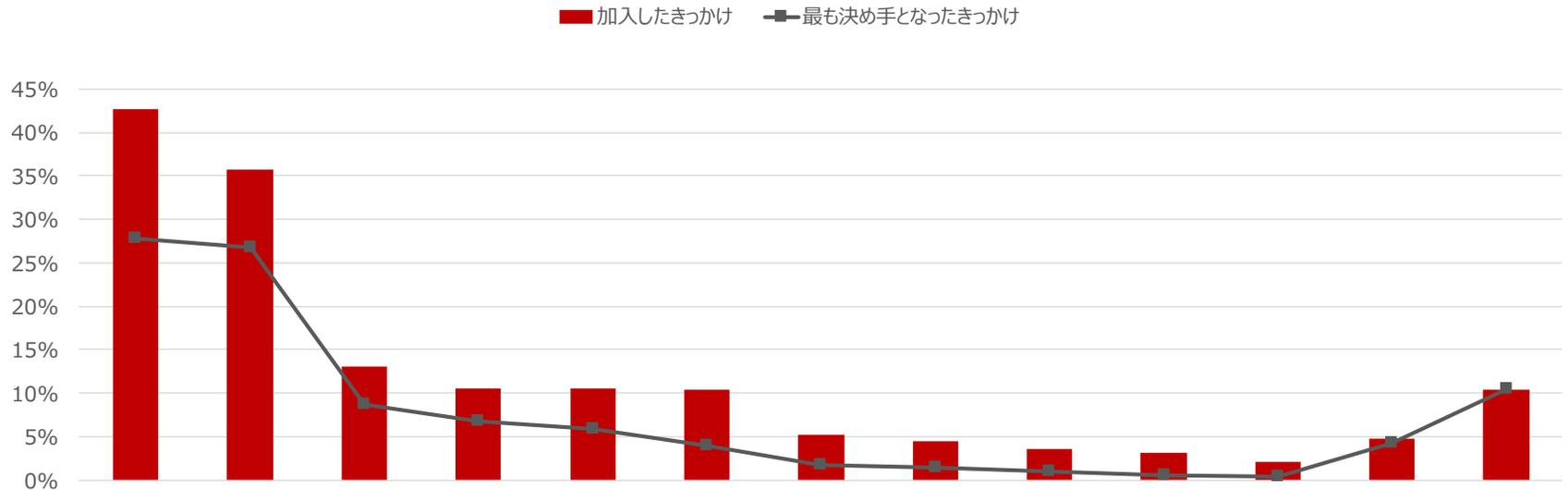
※ 企業型DC加入者は、本調査で加入資格有りと回答した人の内、実際に加入している人を集計

## 加入のきっかけ：iDeCo

- iDeCo加入者におけるiDeCoに加入したきっかけは「老後の不安を感じたから」が43%と最も高く、「税メリットを大きく享受できる制度自体に魅力を感じたから」が36%と続く

### 加入のきっかけ

Q) iDeCo（またはiDeCo+）に加入したきっかけは何ですか（複数回答）。また、その中で最も加入の決め手になったのは何ですか（単一回答）。（iDeCo/iDeCo+加入者 n=3,222）



	老後の不安を感じたから	税メリットを大きく享受できる制度自体に魅力を感じたから	勤務先等が拋出してけると知ったから	取引のある金融機関からの勧め	知人・家族などからの勧め	オンラインでの申込が可能で手軽にはじめるから	インターネットで調べたら検索上位に出てきたから	加入可能年齢が60歳から65歳に伸びたから	動画配信などを見て	ネット広告を見て	ネット以外の広告を見て	その他	あてはまるものはない
加入したきっかけ	43%	36%	13%	11%	11%	10%	5%	4%	4%	3%	2%	5%	10%
最も決め手となったきっかけ	28%	27%	9%	7%	6%	4%	2%	1%	1%	1%	0%	4%	10%

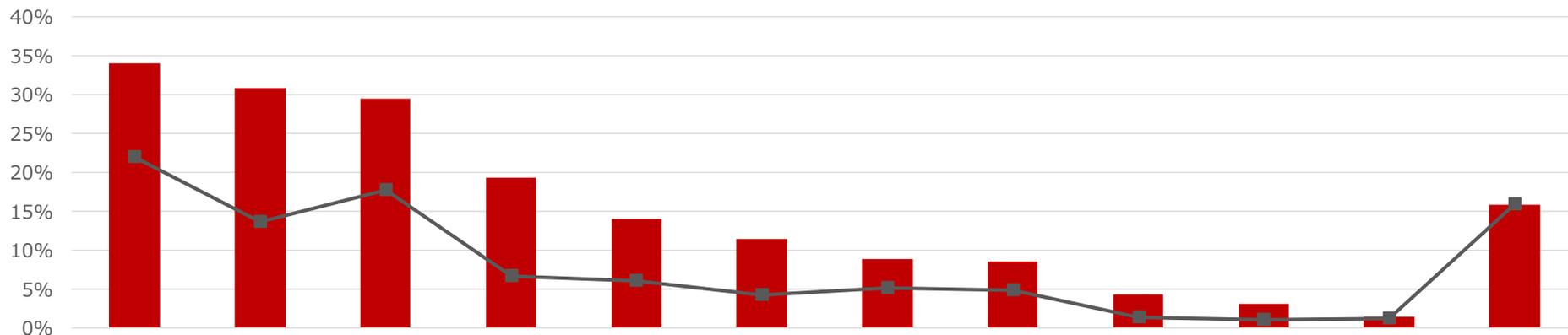
## 加入時の重視項目：iDeCo

- iDeCo加入時に重視した点は、「普段利用している金融機関であること」が34%と最も高く、「商品のラインアップ」が31%、「口座管理コストが安いこと」30%と続く
- 最も重視した点は、「口座管理コストが安いこと」が「商品のラインアップ」よりも高くなっている

### 加入時の重視項目

Q)あなたは、iDeCo（またはiDeCo+）の申し込みにあたって、どのような項目を重視しましたか（複数回答）。またその中で最も重視した点はどれですか（単一回答）。（iDeCo/iDeCo+加入者 n=3,222）

■ 重視した点    ■ 最も重視した点



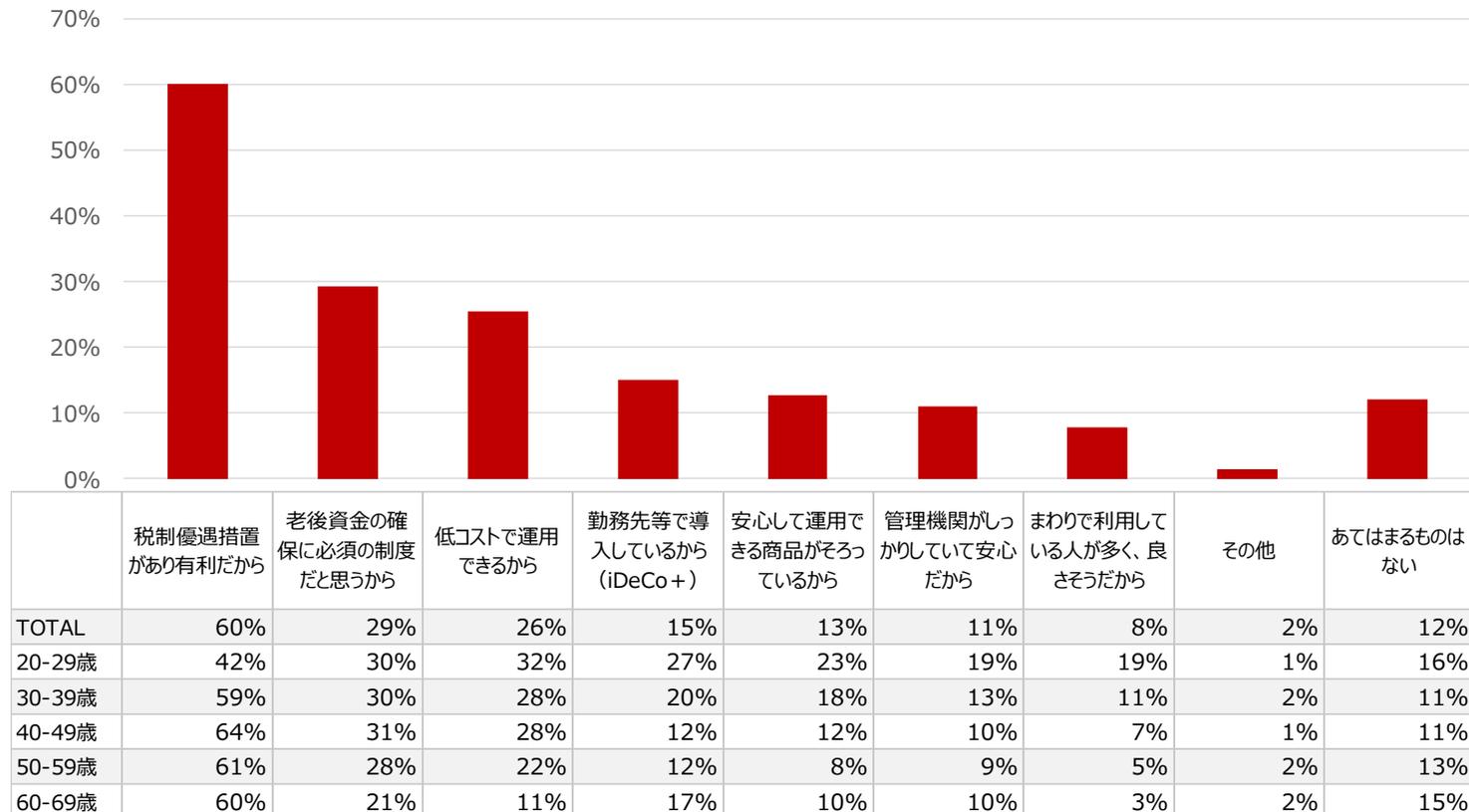
	普段利用している金融機関であること	商品のラインアップ (自分が購入したい商品があること)	口座管理コストが安いこと	信託報酬など商品の運用コストが安いこと	金融機関からのサポートがあること	インターネットで検索して自分に合っていると思ったから	勤務先等からの案内で自分に合っていると思ったから	知人・家族などからの意見	ロボアドバイザーが提供されていること	専門家の意見	その他	重視した項目はない
重視した点	34%	31%	30%	19%	14%	11%	9%	9%	4%	3%	1%	16%
20-29歳	33%	38%	23%	24%	22%	22%	16%	14%	14%	8%	1%	18%
30-39歳	32%	37%	32%	23%	16%	15%	9%	13%	7%	5%	1%	15%
40-49歳	35%	32%	32%	21%	12%	12%	8%	8%	4%	3%	1%	15%
50-59歳	34%	25%	29%	15%	13%	8%	8%	5%	2%	2%	2%	16%
60-69歳	37%	22%	14%	10%	17%	6%	8%	6%	2%	2%	4%	23%
最も重視した点	22%	14%	18%	7%	6%	4%	5%	5%	1%	1%	1%	16%

## 制度を利用している理由：iDeCo

- iDeCoを利用している理由は「税制優遇措置があり有利だから」が60%と最も高く、「老後資金の確保に必須の制度だと思うから」、「低コストで運用できるから」が続く

### 利用理由（年代別）

Q)あなたがその制度を利用しているのはどのような理由からですか。「当てはまるものすべて」をお答えください。（複数回答、iDeCo加入者 n=3,219※）



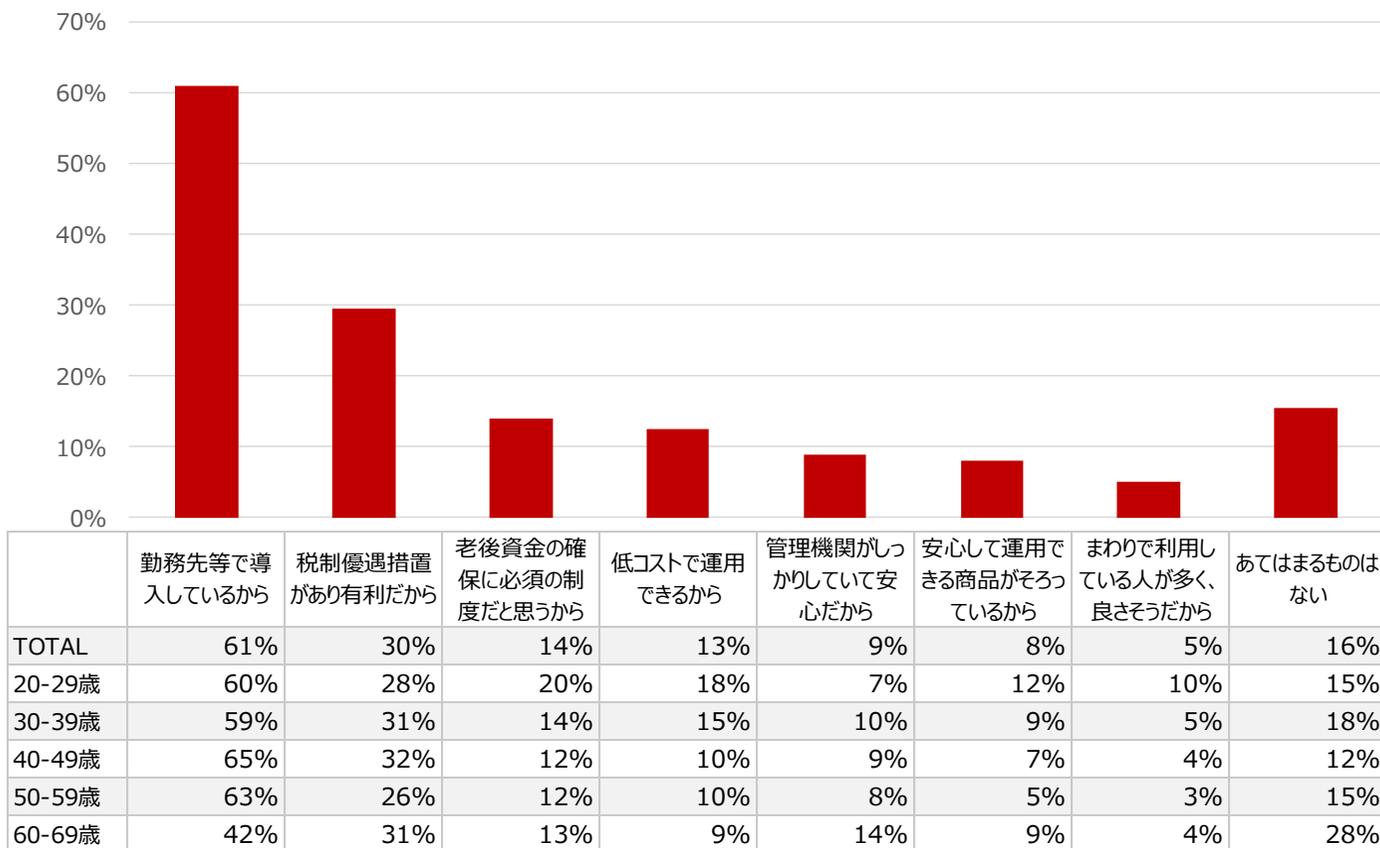
※ iDeCo+加入（iDeCo加入が前提）者でiDeCo非加入とした3サンプルは除外して算出

## 制度を利用している理由：企業型DC

- 企業型DCを利用している理由は「勤務先等で導入しているから」が61%と最も高く、「税制優遇措置があり有利だから」が続く

### 利用理由（年代別）

Q) あなたがその制度を利用しているのはどのような理由からですか。「当てはまるものすべて」をお答えください。（複数回答、企業型DC加入者 n=3,005※）



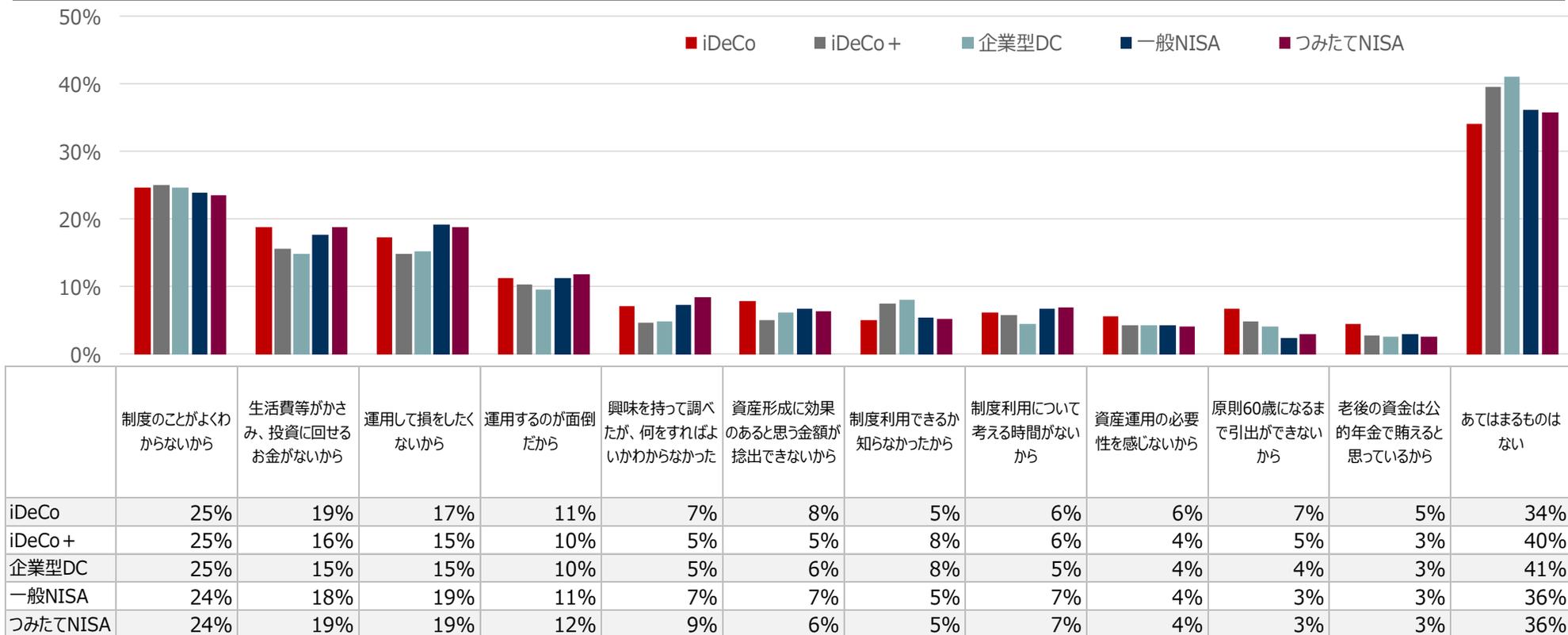
※ 企業型DC加入者は、スクリーニング調査で実際に加入していると回答した人を集計（以下、同）

## 制度を利用しない理由

- 各制度においても制度を利用していない理由は「制度のことがよくわからないから」が最も高い。次いで「生活費等がかさみ、投資に回せるお金がないから」、「運用して損をしたくないから」が続く
- 「老後の資金は公的年金で賄えると思っているから」は非常に少ない

### 非利用理由

Q)あなたが、これらの制度を利用していないのはなぜですか。あてはまるものをそれぞれお答えください。(複数回答、各制度の非利用者数※1)



※1 「iDeCo」 n=5,164、「iDeCo+」 n=8,236、「企業型DC」 n=5,381、「一般NISA」 n=6,847、「つみたてNISA」 n=6,354

※ iDeCo+加入 (iDeCo加入が前提) 者でiDeCo非加入とした3サンプルは除外して算出

※ iDeCo+加入と回答しているが加入者資格のない127サンプル除外して算出

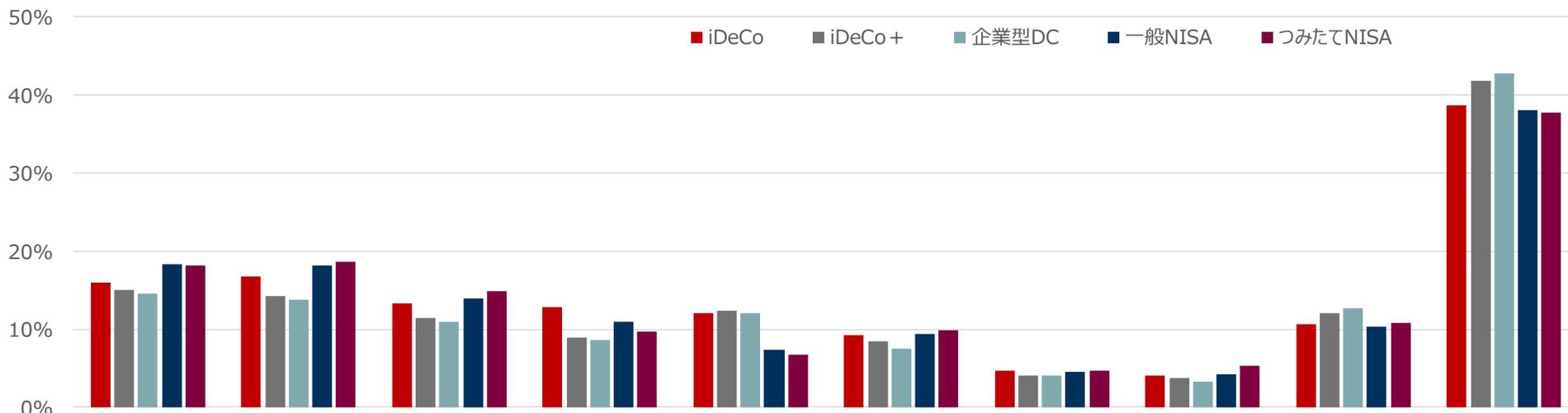
当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

## 制度を利用するためのきっかけ

- 各制度の非利用者が制度を利用するためのきっかけは、「あてはまるものはない」を除くと、「リスクとリターンのイメージがつけば」、「始めるにあたってサポート、教えてくれる人がいれば」が相対的に多い
- 「どのようなきっかけがあってもこの制度を始める気はない」が一定数存在する

### 各制度を利用するためのきっかけ

Q) どのようなきっかけがあれば、このような制度を使った積立型の投資を始めたいと思いますか。あてはまるものをすべてお答えください。（複数回答、各制度の非利用者数※1）



	リスクとリターンのイメージがつけば	始めるにあたってサポート、教えてくれる人がいれば	税制メリットに魅力を感じれば	可処分所得が上れば	勤務先等が制度を導入してくれれば	1,000円で投資ができるのであれば	5,000円で投資ができるのであれば	掛金や投資可能な金額が拡大すれば	どのようなきっかけがあってもこの制度を始める気はない	あてはまるものはない
iDeCo	16%	17%	13%	13%	12%	9%	5%	4%	11%	39%
iDeCo+	15%	14%	11%	9%	12%	8%	4%	4%	12%	42%
企業型DC	15%	14%	11%	9%	12%	8%	4%	3%	13%	43%
一般NISA	18%	18%	14%	11%	7%	9%	5%	4%	10%	38%
つみたてNISA	18%	19%	15%	10%	7%	10%	5%	5%	11%	38%

※1 「iDeCo」 n=5,164、「iDeCo+」 n=8,236、「企業型DC」 n=5,381、「一般NISA」 n=6,847、「つみたてNISA」 n=6,354

※ iDeCo+加入（iDeCo加入が前提）者でiDeCo非加入とした3サンプルは除外して算出

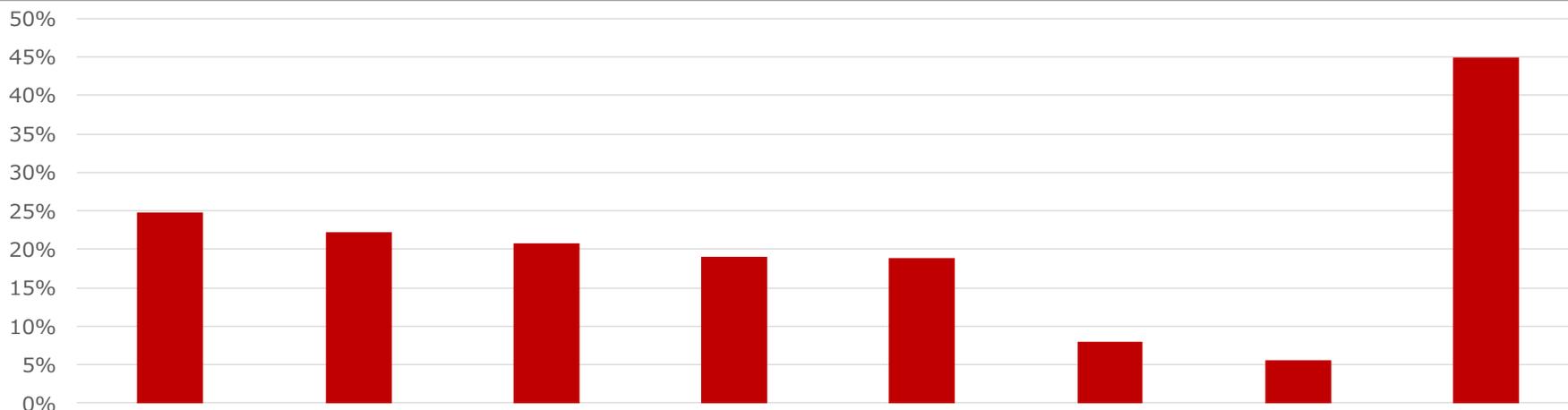
※ iDeCo+加入と回答しているが加入者資格のない127サンプルは除外して算出

## 制度・サービスに関するニーズ

- 各制度の加入者があつたらよいと思う制度・サービスは、「あてはまるものはない」を除くと、「運用の相談にのってくれる」が最も高く25%。「勤務先等が投資資金を上乗せしてくれる」が22%、「勤め先企業が手続きから管理まで対応してくれる」が21%と続く
- 「投資に関する情報や教育コンテンツ」、「いざという時に投資資金を利用できる」も19%

### 各制度に関するニーズ（加入制度別）

Q) 老後資金や資産形成について、あなたはどのような制度・サービスがあつたらよいと思いますか。（複数回答、制度別の加入者及び制度未利用者の数※）



	運用の相談にのってくれる	勤務先等が投資資金を上乗せしてくれる	勤め先企業が手続きから管理まで対応してくれる	投資に関する情報や教育コンテンツ	いざという時に投資資金を利用できる	従来よりも幅広いカテゴリーの商品に投資できる	従来よりも多くの商品に投資できる（確定拠出年金では現状より多い36本以上）	あてはまるものはない
TOTAL	25%	22%	21%	19%	19%	8%	6%	45%
企業型DC加入者	29%	47%	31%	22%	21%	14%	12%	21%
iDeCo加入者	29%	37%	23%	26%	23%	13%	11%	24%
iDeCo+加入者	65%	26%	52%	44%	44%	39%	30%	4%
一般NISA加入者	23%	25%	17%	19%	22%	13%	10%	35%
つみたてNISA加入者	36%	36%	19%	33%	19%	10%	9%	24%
制度未利用者	23%	18%	21%	17%	19%	7%	4%	52%

※ 「TOTAL」 n=8,386、「企業型DC加入者」 n=3,005、「iDeCo加入者」 n=3,222、「iDeCo+加入者」 n=23、「一般NISA加入者」 n=1,539、「つみたてNISA加入者」 n=2,032、「制度未利用者」 n=2,169

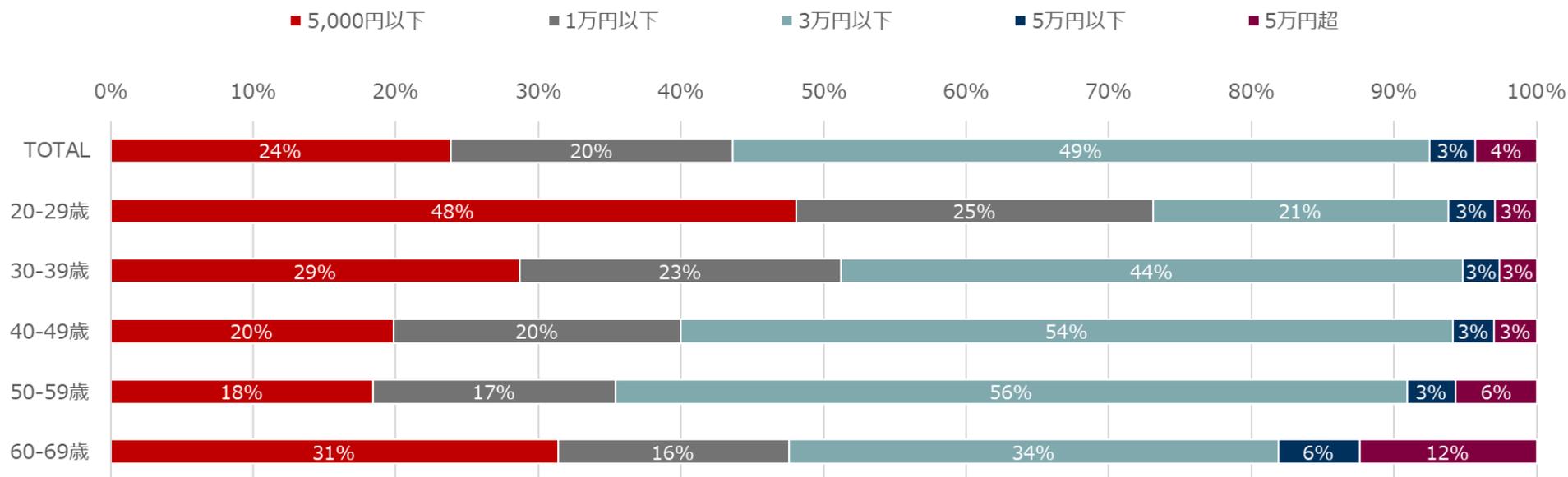
当資料は意識調査の内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。当資料に示された内容等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。また特定の銘柄の推奨や売買等を示唆するものではありません。

## 現状の投資金額：iDeCo

- iDeCoを利用した商品への毎月の投資金額は、1万円超から3万円以下が49%で最多
- 1万円以下の比較的少額で投資を行っている人も一定数存在し、特に20代では加入者の73%を占める

### 現状の投資金額（年代別）

Q) あなたが利用している制度について、それぞれ毎月いくら投資していますか。あてはまるものをそれぞれお答えください。（単一回答、iDeCo加入者 n=3,219）



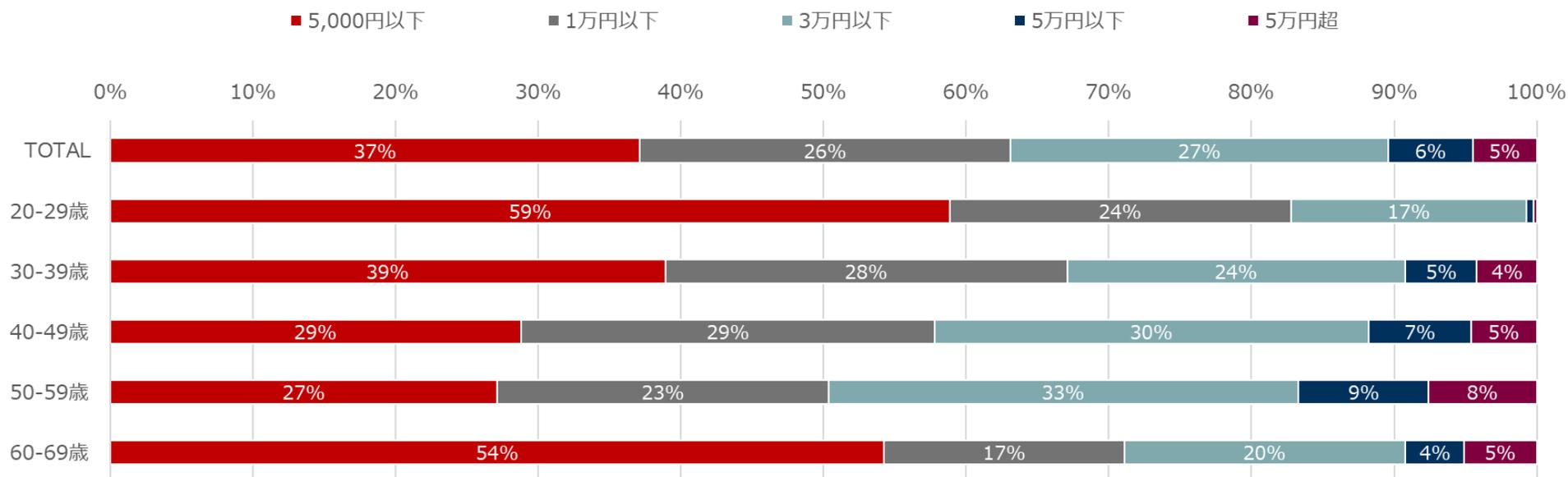
※ iDeCo + 加入（iDeCo加入が前提）者でiDeCo非加入とした3サンプルは除外して算出

## 現状の投資金額：企業型DC

- 企業型DCを利用した商品への毎月の投資金額は「5,000円以下」が37%で最多
- 1万円以下の比較的少額で投資を行っている人は、どの世代でも50%を超える

### 現状の投資金額（年代別）

Q) あなたが利用している制度について、それぞれ毎月いくら投資していますか。あてはまるものをそれぞれお答えください。（単一回答、企業型DC利用者 n=3,005）

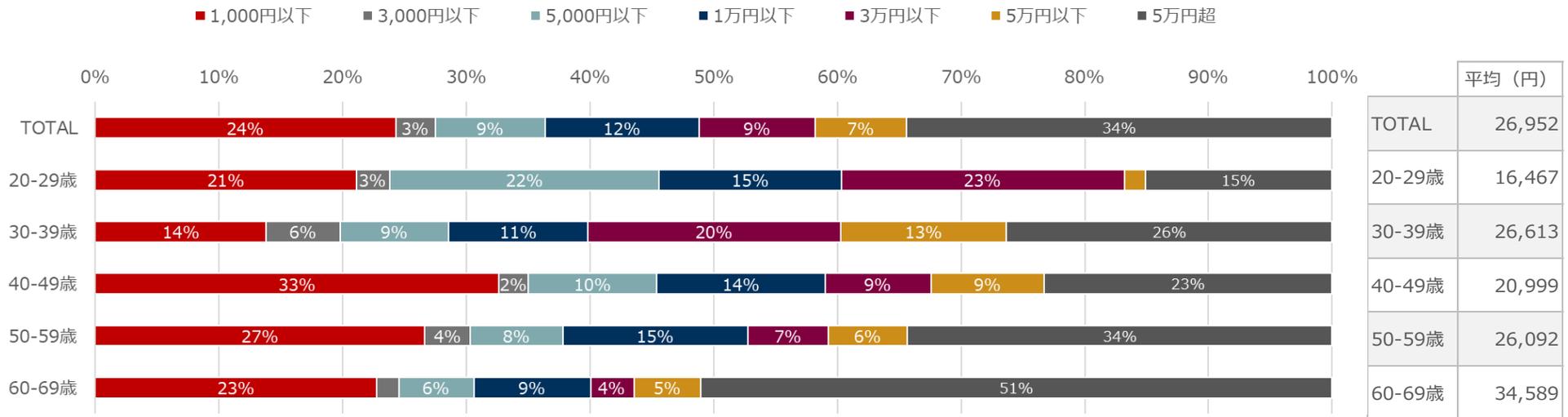


## (参考) 現状の投資金額：一般NISA

- 一般NISAを利用した商品への毎月の投資金額は「5万円超」が34%、「1,000円以下」が24%
- 投資金額の平均は26,952円で、年代別では60代が最も高い

### 現状の投資金額（年代別）

Q) あなたが利用している制度について、それぞれ毎月いくら投資していますか。あてはまるものをそれぞれお答えください。（単一回答、一般NISA加入者 n=1,539）



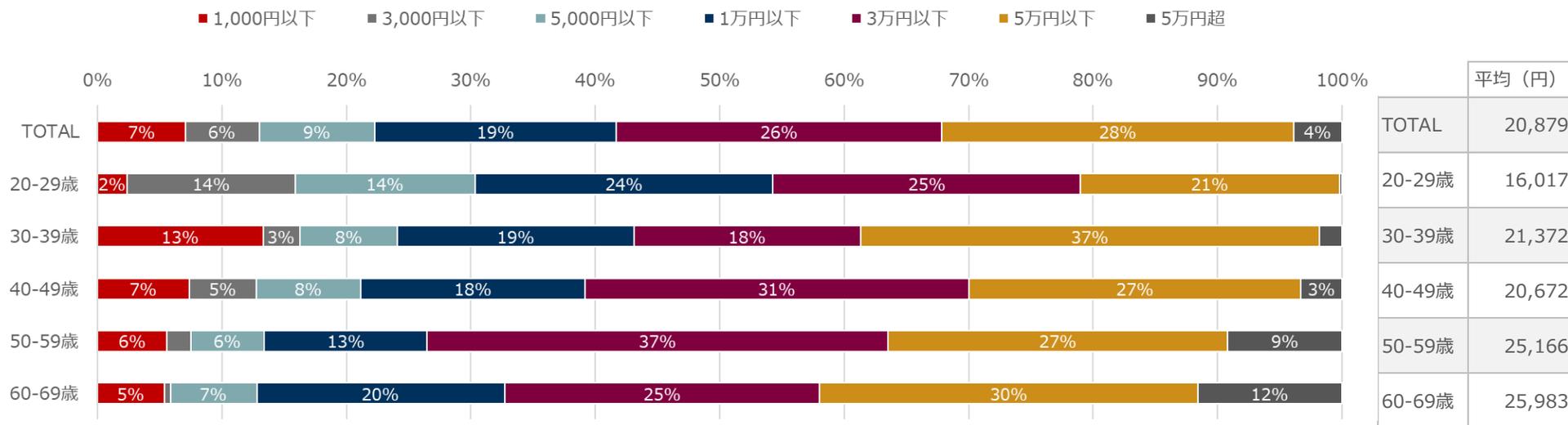
※ 平均 (円) は「1,000円以下」を500円、「3,000円以下」を2,000円、「5,000円以下」を4,000円、「1万円以下」を7,500円、「3万円以下」を20,000円、「5万円以下」を40,000円、「5万円超」を60,000円として算出

## (参考) 現状の投資金額：つみたてNISA

- つみたてNISAを利用した商品への毎月の投資金額は「5万円以下」が28%、「3万円以下」が26%、「1万円以下」が19%と続く
- 投資金額の平均は20,879円で、年代別では60代が最も高い

### 現状の投資金額：つみたてNISA（年代別）

Q) あなたが利用している制度について、それぞれ毎月いくら投資していますか。あてはまるものをそれぞれお答えください。（単一回答、つみたてNISA加入者 n=2,032）



※ 平均 (円) は「1,000円以下」を500円、「3,000円以下」を2,000円、「5,000円以下」を4,000円、「1万円以下」を7,500円、「3万円以下」を20,000円、「5万円以下」を40,000円、「5万円超」を60,000円として算出

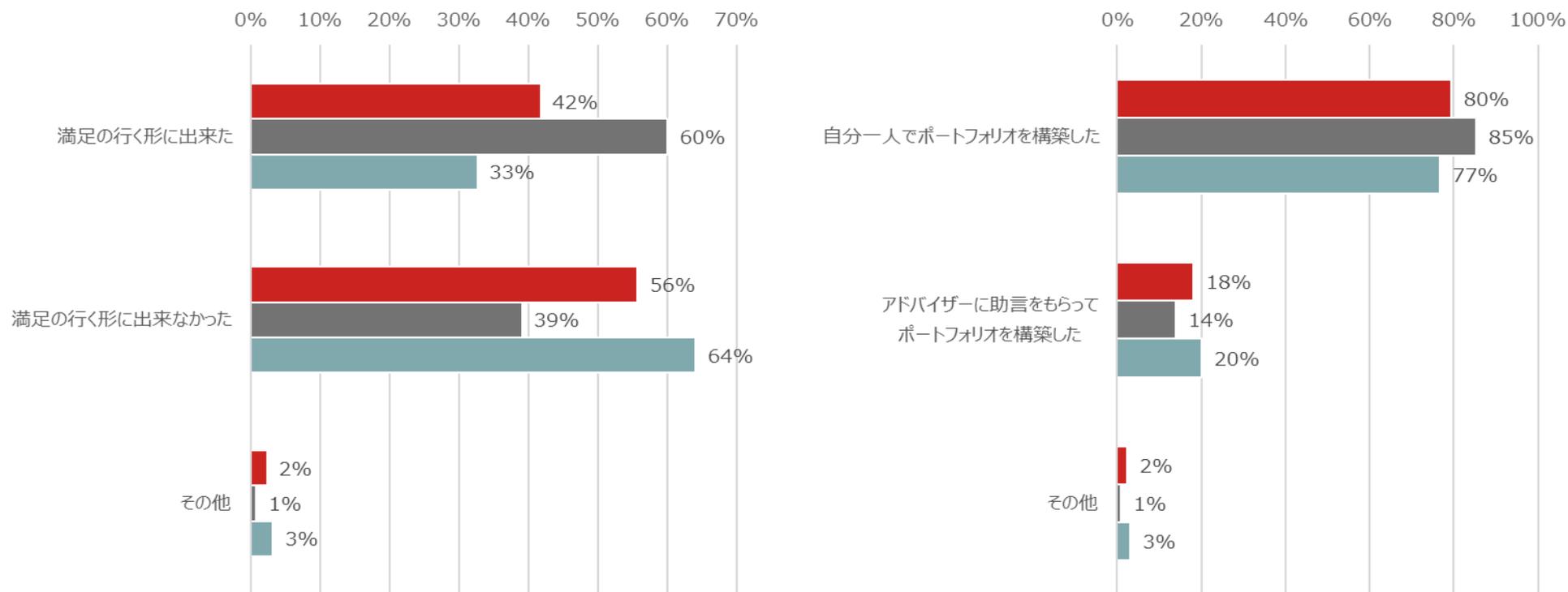
## 運用商品の選定

- 各制度の加入者において、運用商品の選定を満足のいく形にできた人の割合は42%、満足の行く形に出来なかった人の割合は56%
- 各制度の加入者において、運用商品の選定を自分ひとりで決めた人の割合は80%、アドバイザーに助言をもらってポートフォリオを構築した人の割合は18%
- 資産運用のリテラシーがあると思う人の方が、運用商品の選定に対する満足度が高い

### 運用商品の選定（投資リテラシー別）

Q) 企業型DCまたはiDeCoの運用を始めるにあたり、運用商品はご自分で決めることができましたか。（単一回答、iDeCo/企業型DC加入者 n=5,831）

■ TOTAL ■ 資産運用のリテラシーがある方だと思う（はい） ■ 資産運用のリテラシーがある方だと思う（いいえ）

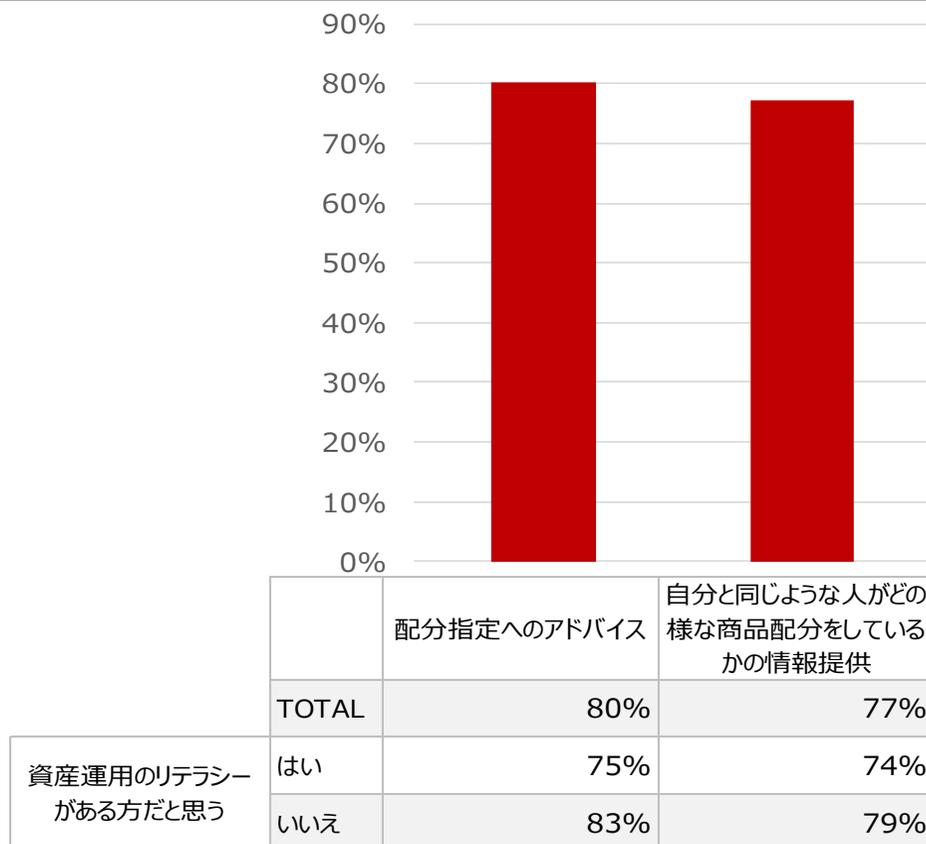


## 商品の配分指定における支援要否

- 各制度の加入者において、商品の配分指定における支援要望は「配分指定へのアドバイス」が80%、「自分と同じような人がどのような商品配分をしているかの情報提供」が77%
- 資産運用のリテラシーの自己評価にかかわらず、「配分指定へのアドバイス」や「自分と同じような人がどのような商品配分をしているかの情報提供」へのニーズは高い

### 商品の配分指定における支援要否（投資リテラシー別）

Q) 商品の配分指定をする際に、次のような支援があると良いと思いますか。（複数回答、iDeCo/企業型DC加入者 n=5,831）

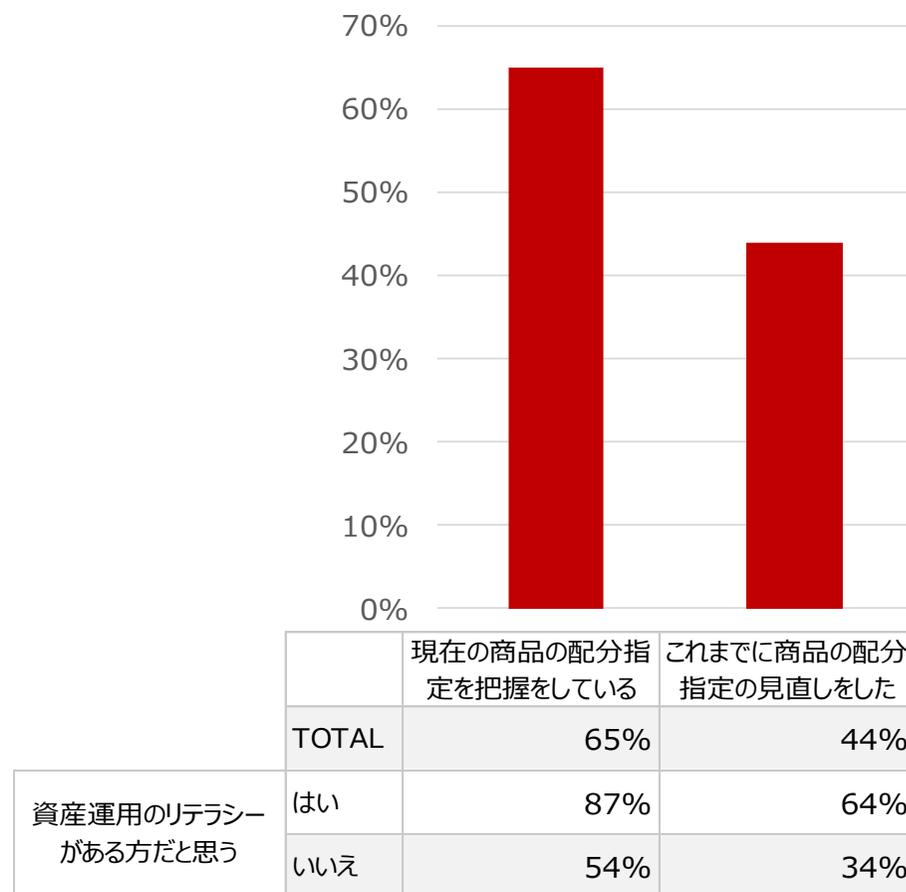


## 商品配分指定の状況

- 各制度の加入者において、「現在の商品の配分指定を把握をしている」人は65%、「これまでに商品の配分指定の見直しをした」人は44%。資産運用のリテラシーがある方だと思わない人は、商品配分の把握、見直しのいずれも行っている割合が低い

### 商品配分指定の状況（投資リテラシー別）

Q) 運用開始後の商品の配分指定について、(1)現在把握していますか。(2)商品の見直しをしたことがありますか。(複数回答、iDeCo/企業型DC加入者 n=5,831)



## 現在および今後の商品配分

- 現在の配分指定している商品は「国内株式（インデックス／パッシブ）」が29%と最も高く、「米国株式（インデックス／パッシブ）」が23%、「全世界株式（インデックス／パッシブ）」が22%と続く
- 今後配分したい商品は「全世界株式（インデックス／パッシブ）」、「米国株式（インデックス／パッシブ）」が23%
- 資産運用のリテラシーがある方だと思わない人は、現在配分指定している商品、今後配分指定したい商品ともに「わからない、よく覚えていない」が多い

### 現在配分指定している商品（投資リテラシー別）

Q) 現在どのような商品に配分指定していますか。現在について、指定している「すべての商品」を教えてください。（複数回答、iDeCo,企業型DCの加入者で商品の配分を把握している者 n=3,865）

	国内株式 (インデックス /パッシブ)	米国株式 (インデックス /パッシブ)	全世界株式 (インデックス /パッシブ)	預貯金 ・保険	バランス ファンド	国内債券 (インデックス /パッシブ)	国内株式 (アクティブ)	先進国株式 (インデックス /パッシブ)	先進国債券 (インデックス /パッシブ)	米国株式 (アクティブ)	国内債券 (アクティブ)	新興国株式 (インデックス /パッシブ)	先進国株式 (アクティブ)	先進国債券 (アクティブ)	ターゲット・イ ヤー・ファンド	J-REIT	新興国債券 (インデックス /パッシブ)	グローバル REIT	ESG関連 ファンド	わからない、 よく覚えてい ない
TOTAL	29%	23%	22%	20%	18%	18%	14%	12%	12%	10%	8%	7%	7%	5%	5%	5%	4%	4%	4%	32%
資産運用のリテラシー がある方だと思う	はい	33%	27%	27%	16%	18%	16%	17%	15%	12%	9%	9%	9%	7%	8%	7%	4%	7%	5%	18%
	いいえ	26%	20%	18%	23%	17%	18%	12%	9%	9%	6%	5%	5%	4%	2%	3%	4%	2%	2%	43%

### 今後配分指定したい商品（投資リテラシー別）

Q) 今後どの商品に配分指定したいですか。今後、指定したい「すべての商品」を教えてください。（複数回答、iDeCo,企業型DCの加入者で商品の配分を把握している者 n=3,865）

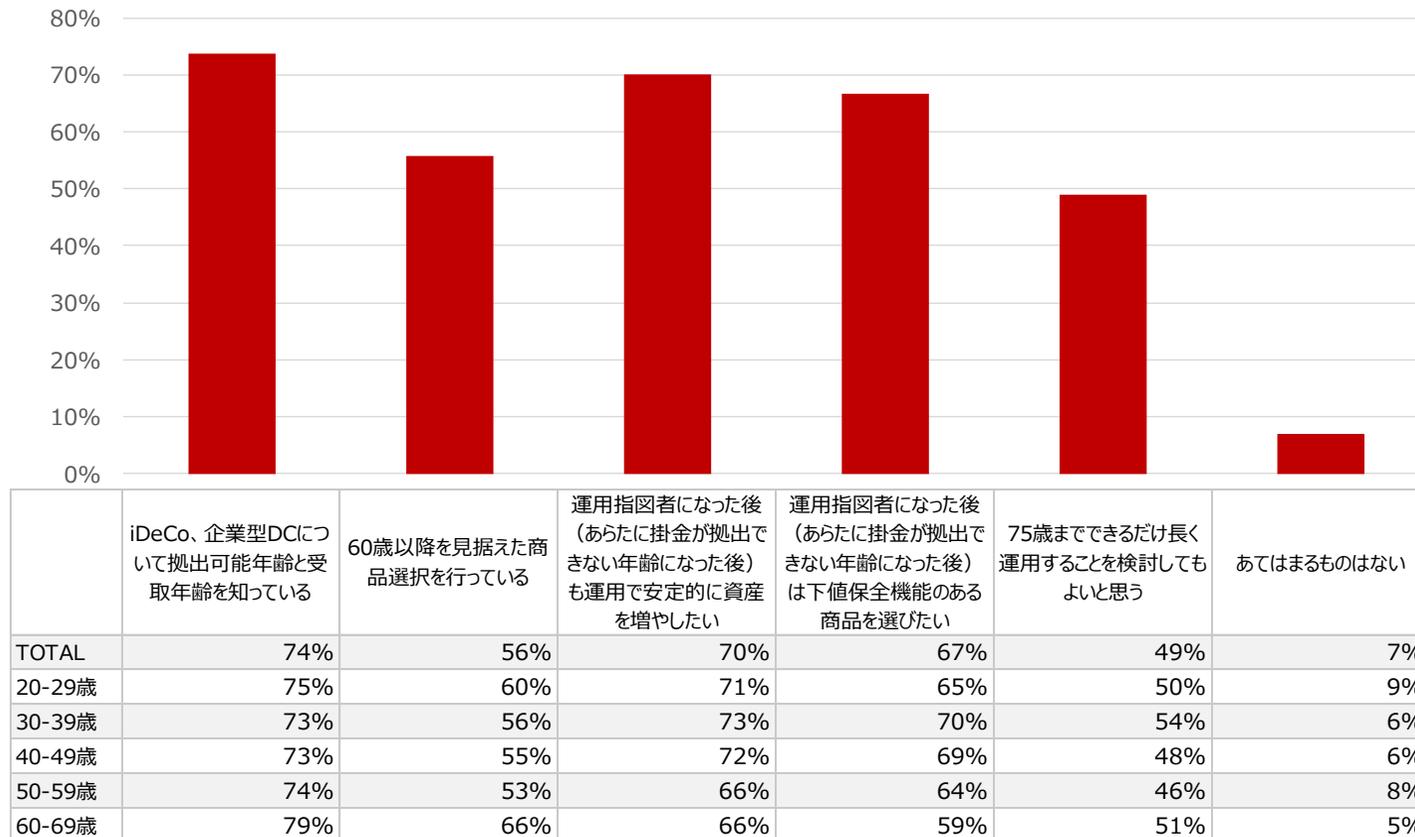
	国内株式 (インデックス /パッシブ)	米国株式 (インデックス /パッシブ)	全世界株式 (インデックス /パッシブ)	預貯金 ・保険	バランス ファンド	国内債券 (インデックス /パッシブ)	国内株式 (アクティブ)	先進国株式 (インデックス /パッシブ)	先進国債券 (インデックス /パッシブ)	米国株式 (アクティブ)	国内債券 (アクティブ)	新興国株式 (インデックス /パッシブ)	先進国株式 (アクティブ)	先進国債券 (アクティブ)	ターゲット・イ ヤー・ファンド	J-REIT	新興国債券 (インデックス /パッシブ)	グローバル REIT	ESG関連 ファンド	わからない、 よく覚えてい ない
TOTAL	15%	23%	23%	11%	12%	7%	10%	13%	7%	11%	5%	9%	9%	5%	4%	5%	4%	5%	4%	32%
資産運用のリテラシー がある方だと思う	はい	17%	28%	30%	8%	7%	13%	16%	8%	14%	6%	10%	11%	6%	5%	7%	5%	6%	5%	18%
	いいえ	13%	18%	18%	12%	10%	7%	9%	10%	9%	4%	8%	7%	5%	3%	4%	4%	4%	4%	43%

## 60歳以降の運用継続意向

- iDeCo、企業型DCの加入者で商品の配分を把握している人は、「iDeCo、企業型DCについて拠出可能年齢と受取年齢を知っている」が74%、「運用指図者になった後も運用で安定的に資産を増やしたい」が70%、「運用指図者になった後は下値保全機能のある商品を選びたい」が67%と続く
- 約半数は「60歳以降を見据えた商品選択を行っている」や「75歳までできるだけ長く運用することを検討してもよいと思う」と回答

### 60歳以降の運用継続意向（年代別）

Q) 次に挙げる項目について、あなたはそれぞれ当てはまりますか。（複数回答、iDeCo、企業型DCの加入者で商品の配分を把握している者 n=3,865）

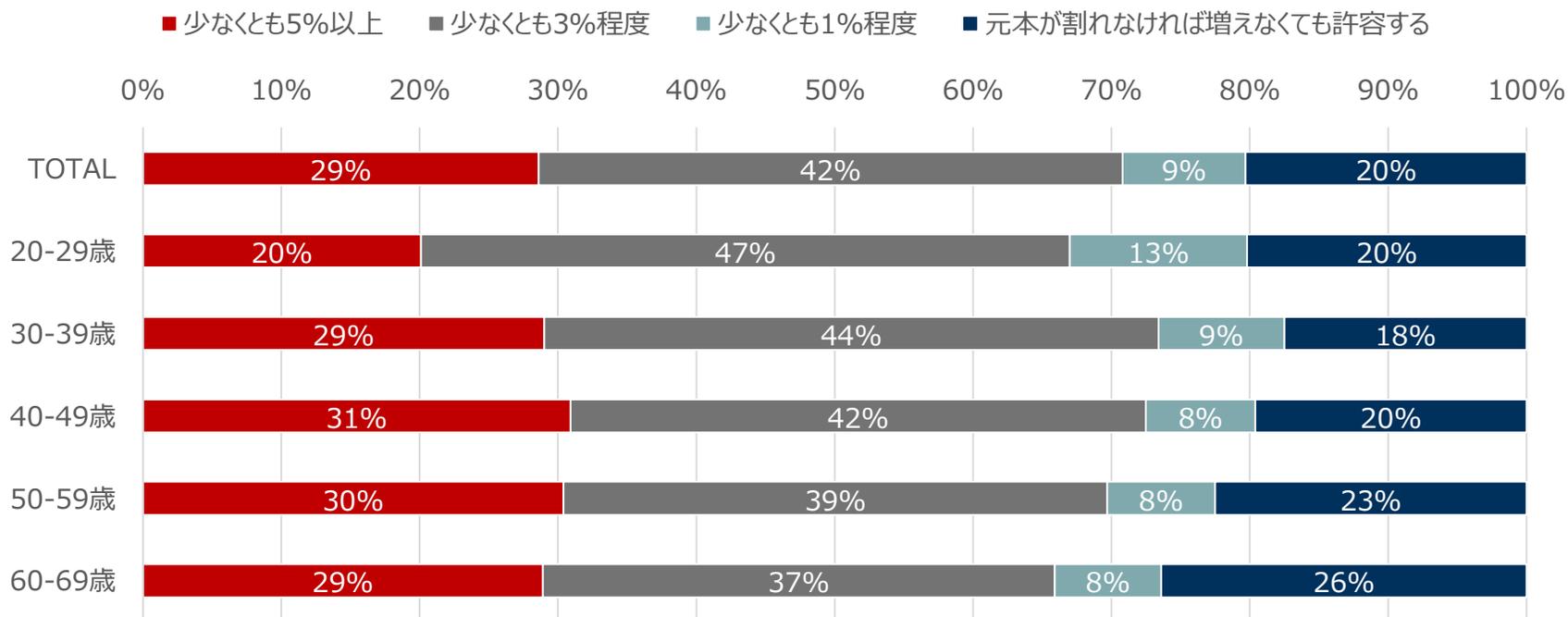


## 60歳以降も運用を続ける際の利回り

- iDeCo/企業型DC加入者では、60歳以降も運用を続ける際の利回りとして、「少なくとも3%程度」が42%と最も高く、「少なくとも5%以上」が29%と続く
- 20%は「元本が割れなければ増えなくても許容する」と回答

### 60歳以降も運用を続ける際の利回り（年代別）

Q) 60歳以降も運用を続ける際、最低限どのくらいの利回りがあれば、運用を継続したいと思いますか。（最低ラインをお答えください）（複数回答、iDeCo/企業型DC加入者 n=5,831）

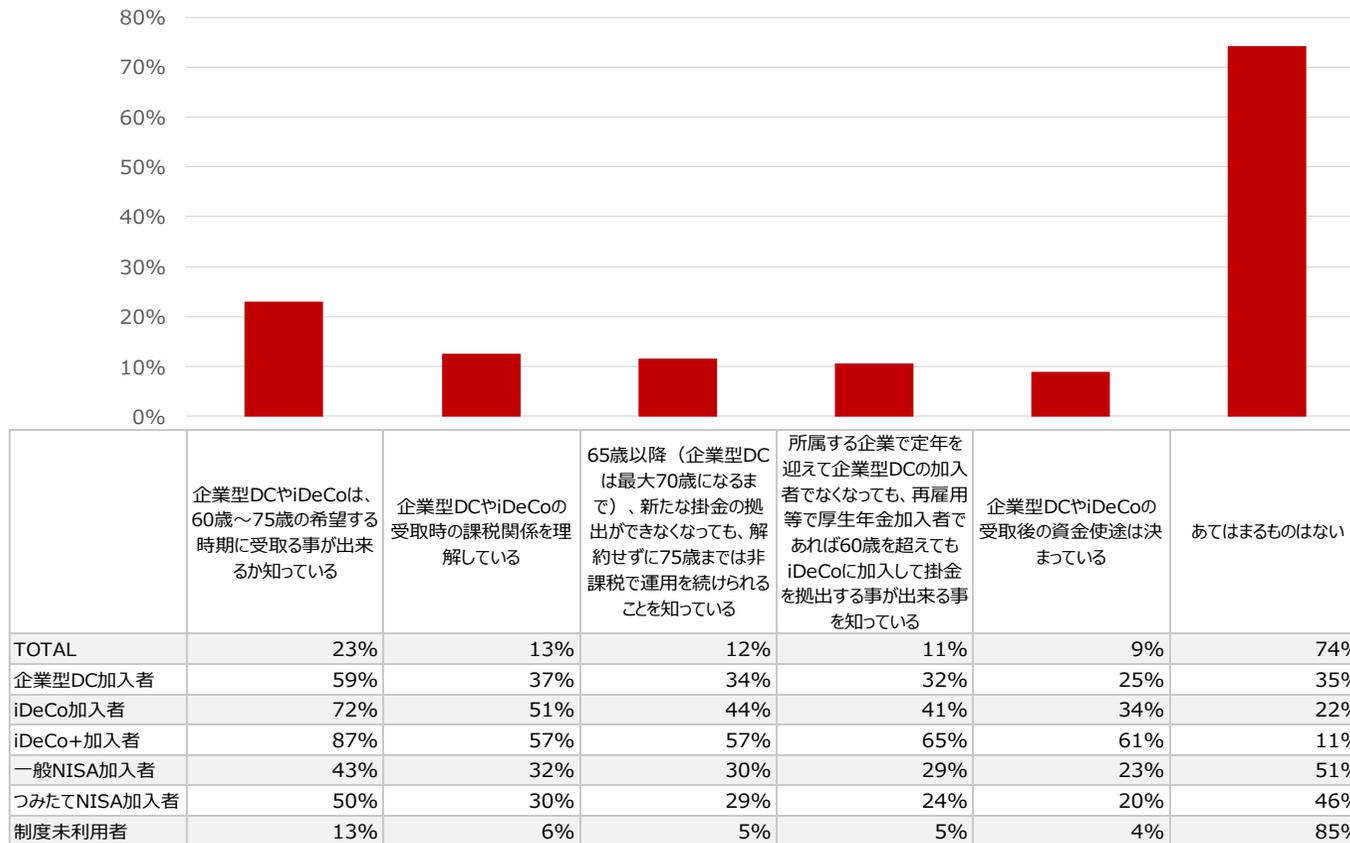


## 受取時に関する制度内容等の理解

- 制度の未利用者は下記のどの項目においても認知、理解などが出来ている割合が低い

### 制度理解（加入制度別）

Q) 企業型DCやiDeCoに関する次の各項目について、あなたはそれぞれ当てはまりますか。（複数回答、制度別の加入者及び制度未利用者の数※）



※「TOTAL」 n=8,386、「企業型DC加入者」 n=3,005、「iDeCo加入者」 n=3,222、「iDeCo+加入者」 n=23、「一般NISA加入者」 n=1,539、「つみたてNISA加入者」 n=2,032、「制度未利用者」 n=2,169

## 調査概要

### ➤ 調査手法：インターネット調査

### ➤ 調査対象：

- スクリーニング：20～69歳・男女個人
- 本調査：DC（企業型／個人型）利用者 + 非利用者  
※ 関連業種の従事者は除外（金融業界、市場調査、マスコミ、広告代理店）

### ➤ 有効回収数：

- スクリーニング調査：106,165サンプル（回収ベース）  
※20代男女は回収可能サンプル数が少ないため、最大回収数を狙った  
※30代～60代男女は10エリア×性年代の人口構成比に合わせ回収
- 本調査：8,386サンプル（回収ベース）
  - 企業型DC利用者 = 2,612サンプル ※都道府県別のサンプル数は指定なし
  - iDeCo利用者 = 3,219サンプル ※都道府県別のサンプル数は指定なし
  - DC非利用者 = 2,555サンプル（各50サンプル×47都道府県）

### ➤ 調査地域：全国

### ➤ 調査時期：

- スクリーニング調査：2022年11月24日(木)～2022年11月28日(月)
- 本調査：2022年12月2日(金)～2022年12月5日(月)

### ➤ ウェイトバック：

- iDeCo+利用者、企業型DC、iDeCo利用者、DC非利用者の人数を既存統計に合わせた上で、それぞれの内訳についても可能な限り既存統計と整合的になるようウェイトバックして集計
- 拡大推計を可能とするため、日本の総人口（20～69歳：76,785千人）に合わせて度数を計算
- 資料中でnはウェイトバック無しの数字、図表はウェイトバック有りの数字を用いて表示

※本資料において、各数値は小数点以下第1位を四捨五入した整数で表示



野村アセットマネジメント  
資産運用研究所